



『こうちょうしつから こんにちは』 【苺小バザー編】

平成27年 9月 7日
青森市立苺町小学校
校長 木村文江

少し前のことになりますが、7月26日(日)、今年も、夏休みに入ってから最初の日曜日に、苺町小学校PTA主催の『苺小バザー』が開かれました。

当日は、天気にも恵まれ、また、保護者の皆様や『親父の会』の皆様のご支援やご苦勞に支えられ、おかげさまで、みんなでわいわいと賑やかに楽しむことができました。

また、本校の子どもたちやご家族ばかりではなく、地域の皆様もたくさん立ち寄って下さいました。前庭で焼き鳥や焼きそばを調理していたので、道行く地域の皆様の中には、「今日は、何ですか？」と尋ねられ、そのまま校舎の中へ入って一緒に楽しまれてくださった方々も大勢いらっしゃいました。ありがとうございました。

9時半頃だったでしょうか、消防署の方も検査に来て下さいましたが、指摘を受けた箇所は1つもなく、自信をもって焼きそばや焼き鳥、棒パンなどの調理をすることができました。これも、保護者の皆様や『親父の会』の皆様方が、お忙しい合間を縫いながら、話し合いや打ち合わせ、準備等々を入念にしてくださったおかげです。また、中学生も『親父の会のTシャツ』を着て焼き鳥などを焼いて手伝ってくれました。本当に皆様ありがとうございました。



← 暑い中、“おいしい焼きそば”にしようと、『親父の会』のお父さん方が腕を振るって下さいました。秘伝のたれを使って、とつても丁寧に焼き上げられたおそばは、それは、それは、“美味”でした！



→ 中学生もお手伝いに来てくれました。焼き鳥を香ばしくじっくりと焼いていく手つきは、なかなかのものです。また、『苺小バザー』ばかりではなく、花壇整備や冬の除雪作業にも中学生のみなさんが駆けつけくれるのです。頼りになります！



← 棒パンは、くるくると回しながら気長に焼くと、ぷっくらと、しかも、とっても香ばしくおいしく焼けます。お父さんやお母さん方がそばについて焼き方のアドバイスをしてくださるので、小さい子どもたちも初めての方も安心して焼くことができました。焼き上がりを待つ間のおしゃべりも楽しかったなあ。

→ かき氷やおにぎり、フランクフルトなどを食べる際には、ちゃんと椅子に座って食べます。お父さんやお母さん方がコンロの前や売店でお仕事をしていたら、わかっているのを知っているので、自分たちだけでも声を掛け合い仲良く食べていました。





↑ 就学前の妹がこぼしてしまったカキ氷をお兄ちゃんが丁寧に始末してくれていました。ちょっと感激してしまいました。



↑【ストラックアウト】周りの人の声援を受けながらの力投。さて、何枚のカードを射抜くことができるでしょう！年に1度しかできないのが残念だと思われるくらい、かなり面白い競技(?)なんです。

→【お楽しみのビンゴ大会】

数字が読み上げられるたびに歓声が上がっていました。でも、中盤を過ぎるとなかなか出てこない数字にやきもき。それもまた、ビンゴの面白さです。司会をしてくださっているお母さん方の巧妙な語りが、より一層、会を盛り上げてくださいました。



← お父さんやお母さん方だけに後片付けを任せるのではなく、安全に気をつけながら子どもたちも手伝います。写真は、何と！3年生です。頼もしい！（傍では、お父さん方が見守ってくださっていました。）

本校を卒業した中学生や高校生のみなさんもたくさん来てくれました。そして、顔を知らない私に対しても、高校生と思われる生徒さんたちがあいさつをしてくれたり、「先生は、箕町小学校、何年目ですか？」と話しかけてくれたり、将来の夢を語ったりしてくれた高校生もいました。そして、中学生のみなさんも、部活のこと、期末テストのこと、クラスのことを生き生きと話してくれ、がんばっているなぁと感じました。いいですね！未来に向かって生きていく若者たちの何と雄々しく、清々しいことか！

会場の片付けが終わった後も、しばらくは、体育館で思い思いに遊んでいた子どもたち。学年に関係なく、みんなでキャーキャーと歓声を上げながら思いっきり走り回っていました。（そうだ！身体をつかっていっぱい仲間たちと遊べばいいんだ！実にたくましい！）と思わせてくれた場面でもありました。「今年のバザーは、ゲームを持たないで来よう！」と、事前の呼びかけがあってよかったと思いました。

お父さんやお母さん方が準備して下さったストラックアウトやボウリング、バザー、くじ、スライム、棒パン焼き、ビンゴなどで楽しく存分に遊ばせていただいて、暑い中、汗を拭き拭き作って下さったフランクフルトや焼きそば、焼き鳥等、また、暑さしのぎやお腹を満たすようにと用意して下さった飲み物やかき氷、おにぎりなどをおいしく食べて、最後には後片付けを手伝って、その後でまた入念に後始末をして下さっているお父さんやお母さんを待ちながら思いっきり遊んで……。それは、もう、楽しい一日でした。帰宅してからの親子の会話も弾んだのではないのでしょうか。たくさんお世話になりました。ありがとうございました。

